保健室

伊豆の国市立長岡北小学校

養護教諭　橋本　泰代

本校は、伊豆の国市の北部に位置しています。学校周辺はイチゴハウスが建ち並び、イチゴの収穫期には県内外からイチゴ狩りに大勢の方が訪れる、イチゴの名産地です。もれなく、学校の敷地内にもイチゴハウスが設置されていて、3～6年生の子どもたちを中心にイチゴ栽培に取り組んでいます。中でも6年生は、修学旅行の活動の一つとして、上野公園で紅ほっぺの苗を一般の方に配布しています。伊豆の国市のPR活動も同時に行い、全国的にも「イチゴの学校」としての認知度が高まりつつある学校です。

近年、児童数はほぼ横ばいで、今年度は全校児童154名、6学級です。それゆえ、地域全体で子どもを育てていこうとする保護者の意識が高く、PTA活動への協力体制も整っています。

自然あふれる本校の学校教育目標は、「自ら学び　共に高め合う心豊かな子」・重点目標は、「かかわりあいながら伸びる子」です。それらを受けて、子どもたちが、自己肯定感や自己存在感をもち、相手のよさも認め合えるように、学校保健目標を「自分をまるごと大切にする子」とし、場を生かした心の指導に取り組んでいます。

朝の会の健康観察で子どもたちは、どんなふうに元気なのかを自分なりの言葉でクラスのみんなに伝えています。それを更に認め合う場として、養護教諭が校内巡視で教室訪問した際に、その日の当番の子どもが、自分の健康状態を養護教諭に伝達します。子どもたちが、自分の体調を把握したり、クラスの中での存在感を実感したりできるように行っています。

1・2年生の仲よし下校や全学年の集団下校では、さようならの挨拶の後、職員が子どもたちの通り道に並び、ハイタッチや握手をして送り出しています。子どもたちが明日への希望や意欲をもてるように、全職員で取り組んでいます。

また、自分と仲間を大切にできるように、児童保健委員会活動で、月ごとに児童と職員の誕生日を紹介したり、欠席者が一人もいない「全校欠席ゼロの日」は、中央掲示板や昼の校内放送で全校に知らせたりしています。

本校も、小規模校特有の幼児期からの固定化された人間関係の問題は少なからず存在します。子どもたちが、場を活かす工夫をしながら、笑顔があふれる学校になるように、保健室から応援していきます。

下田市立下田中学校

養護教諭　和泉　智子

黒船が来航した歴史をもつ開国の町である下田市にある本校は、山と海に囲まれ自然豊かな土地にあります。全校生徒数283名、特別支援学級1学級を含む10学級の中学校です。学区内の3つの小学校から本校に集まります。その内2校は単学級なため、今までと違う環境の中、新しい人間関係を築きながら多くの壁を乗り越えていきます。「志をもち、気力みなぎる生徒」を学校教育目標に、「声を出す　声に出す」を学校経営目標として、教職員だけでなく生徒も目標を意識して生活しています。学校の朝はとても早く、7時20分から朝運動が始まり、元気な声が校庭に響いています。部活だけでなく、授業や日常生活で、「声を出す」の合い言葉のもと、学校訓の「元気・根気・勇気」3つの気が息づいています。今年度の中体連やコンクールでは、5つの部活が県大会に出場するなど、生徒の活躍する場面が見られました。

しかし、一方で嫌なことから逃げ出そうとする生徒もいます。異動したばかりの昨年度は、保健室に生徒がたまってしまい、保健室を閉鎖せざるを得ない時期もありました。運動会シーズンから保健室を開放しても、荒れた保健室でいつもの同じメンバーと1日を共にし、その生徒とどのように向き合えばよいのか日々悩みました。そのような生徒の居場所は保健室である保健室」には程遠く、1人職の辛さ、責任を痛感しました。困難に耐え、我慢する強い心を育むために、養護教諭として何ができるのか模索中です。

今年度は、落ち着いた保健室に近づいています。保健室を利用する際のカードの活用を徹底し、来室時の様子を確実に担任の先生方に知ってもらえるよう取り組んでいます。保健室で生徒と向き合うだけでなく、他の先生や保護者の方との連携を密にしていくことで、よりよい支援ができると感じています。生徒が凡事徹ないことはわかっていても、状況はなかなか変わりません。利用したくてもできない生徒の背中を見て申し訳ない気持ちになり、私自身の気持ちもいつも目一杯でした。色々な策を講じてみたものの「いつでも・だれでも・どんな理由でも来室でき底に取り組めるよう、色々な場面で教職員も共に取り組んでいこうとしています。保健室でも自分の気持ちを「声に出す」ことで、生徒自身が解放され、少しでも鋭気を養うことができるよう心も身体もサポートしていきたいと思います。

しずおか健康長寿財団だより❻

多彩な事業で、皆さまの健康・生きがいづくりをお手伝い！

しずおか健康長寿財団では、中高年者の健康・生きがいづくりを推進するため、様々な事業を行っております。今回は、開催間近な事業を紹介します。

○ねんりんピックよさこい高知2013に静岡県選手団を派遣します

当財団主催の「静岡県すこやか長寿祭スポーツ大会・美術展」の成績優秀者を静岡県代表として、「ねんりんピック（全国健康福祉祭）」に派遣しています。

本年は、高知県において10月26日㈯～29日㈫の間、開催されます。

派遣する選手団は以下のとおりです。（当財団ホームページに選手名を公表しております）

スポーツ交流大会 文化交流大会	卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、ペタンク、ゴルフ、マラソン、弓道、剣道、グラウンドゴルフ、太極拳、ソフトバレーボール、ウォークラリー、サッカー、水泳、ボウリング、バウンドテニス、パークゴルフ、囲碁、将棋、健康マージャン 22種目142人
美 術 展	日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真 6 部門12作品

静岡県選手団の活躍を期待しています。

○「第17回静岡県すこやか長寿祭美術展」の作品を募集します

高齢者の文化活動の促進とふれあいと生きがいづくりを目的に、高齢者の創作する作品を募集します！「ねんりんピック栃木2014」の選考会も兼ねます。

募集部門	①日本画　②洋画　③彫刻　④工芸 ⑤書　⑥写真の 6 部門
出 品 料	1,000円（点数は 1 人 1 点に限ります）
参加資格	昭和30年 4 月 1 日以前に生まれたアマチュアの方
応募締切	平成25年10月31日㈭　※当日消印有効です。

優秀作品には賞状と副賞を贈呈します。申込いただいた全作品を平成26年 1 月に静岡県立美術館県民ギャラリーに展示します。

※詳細はお問合せください。後日募集要項を送付致します。

○「熟年メッセージ」の作品を募集します

熟年となった今だからこそ挑戦してみたいことや次の世代につなげたいあなたの経験などを人生の語り部として発表してみませんか？

テーマ	自由です。文章（2,000字以内）、音声・映像（10分以内）で発表ください。
応募締切	平成25年10月31日㈭ ※当日消印有効です。

最優秀作品（グランプリ）には副賞10万円を贈呈します。